



ダイコン

栽培ポイントとスケジュール

- 畑は前もって深く、よく耕しておく。未熟な堆肥や有機質肥料が根にふれると岐根や変形根が発生しやすいので、これらは前作に与えておくか、ぼかし(醗酵ずみ)肥料にし、株間に与えるのがよい。
- 間引きは大切な作業なので、おくれず上手に。ふた葉の変形、色の濃すぎ、育ちが異常に早いものは根形がくずれやすいのでとり除く。
- 秋どり栽培は台風に見舞われやすく、被害は大きいので、風雨のあと早めに見回り、倒れたら土を寄せて起す。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春どり栽培(二年系)			■	■	■					◆	◆	
春どり栽培(時無系)	◆	◆			■	■						
夏どり栽培(春播みの系)			◆			■	■					
夏どり栽培(黒葉みの系)					◆		■	■				
秋どり栽培(各種)								◆	◆		■	■

◆種まき ■収穫(関東地区を標準とした場合)

ジェイエース登録内容

2021年3月現在

粒剤

作物名	適用病害虫	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3~4kg/10a	は種前	1回	作条散布	1回

有機リン剤(ジェイエース剤を含む)は長年使用されているため、地域によってはコナガ、アブラムシ類、アザミウマ類などに薬剤抵抗性が発達している可能性があります。そのような地域では、異なる薬剤とローテーション防除を行なってください。

1 畑の準備

1㎡当たり
完熟堆肥 5~6にぎり
未熟なら施さない
化成肥料 大さじ2
油 粕 大さじ4

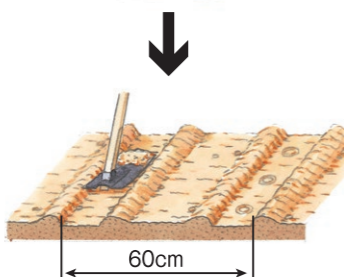


石や木片など芽の伸長の障害になるものは取り除く



2 種まき

ピン底で印をつけて輪状にまく



まいた後、鍬の背をおさえつけて軽く鎮圧して、土と種をなじませる

3 間引き

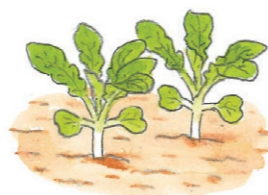
第1回 本葉1枚のころ3本に



第2回 本葉2~3枚のころ2本に



第3回 (最終間引き)
本葉6~7枚のころ1本立てにする



4 生育期病害虫防除



葉の裏からも入念に

5 追肥

第1回 株の周りに
1株当たり
油 粕 小さじ1
化成肥料 小さじ1



第2回 畝の片側にまいて、軽く土寄せをする
1株当たり
油 粕 大さじ2
化成肥料 大さじ1

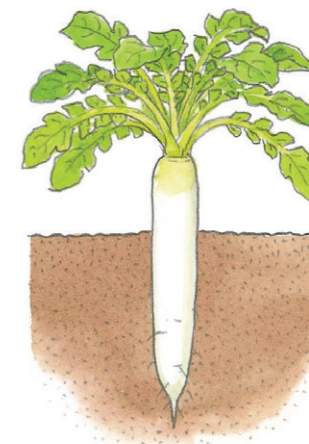


第3回 反対側に前回と同量を
1株当たり
化成肥料 大さじ2

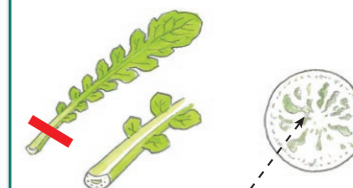


6 収穫

小さいうちから逐次収穫して利用するのがよい



葉の元の方を切ってみて、すりしていれば大根もすりしている



収穫おくれによるすり

コナガやアブラムシ類の発生を未然に防ぐため播種前に処理する

粒剤



播種前作条散布

